# 2012年6月14日（木曜日）の東京新聞にアメリカ進出が紹介されました。

7 総合 11版 2012年（平成24年）6月14日（木曜日） 東京新聞

# 「パンの缶詰」海外へ

## 途上国支援計画に弾み

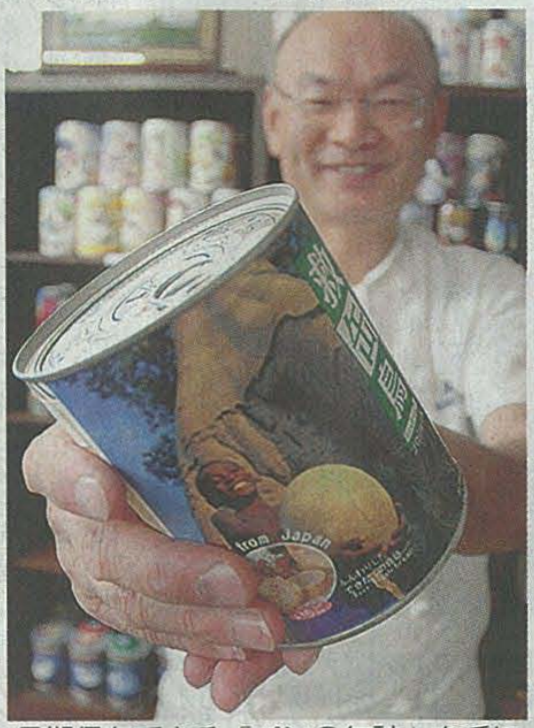
## 「アキモト」米初法人

賞味期限が３年の長期保存食品「パンの缶詰」を製造している「パン・アキモト」（栃木県那須塩原市）が７月、米ロサンゼルスに初めての現地法人を設立する。災害に備えた食糧備蓄と、途上国への食糧支援を目指す「救缶鳥（きゅうかんちょう）プロジェクト」を海外に広めることが狙い。（石井紀代美）

パン・アキモトは一九九五年にパンの缶詰を開発。二〇〇九年秋から国内でこのプロジェクトを進めてきた。企業や学校に災害時の非常食料としてパンの缶詰を購入してもらい、二年たった時点で回収。その後、アフリカやアジアで飢えに苦しむ人たちに届ける仕組み。同じ活動を米国でも始める。

現地法人は、米国に工場を設けパンの缶詰を製造するか、現地の米国企業にノウハウを提供し製造を委託する。缶詰の販路の開拓や回収、途上国や米国内の貧困層への配送も担う予定。秋元義彦社長は「米国は日本より貧富の差が激しく、教会や地域社会を中心とした義援活動が熱心。きっと受け入れられる」と期待している。

パン・アキモトは東日本大震災の被災地にパンの缶詰を義援物資として送る活動も続けている。



長期保存できる「パンの缶詰」を手にする秋元社長＝栃木県那須塩原市で